

2021年 新年明けまして おめでとうございます



「結い」だより

第60号
発行
社会福祉法人 結い
〒703-8255
岡山市中区東川原18-1 203
TEL 086-270-5552
FAX 086-270-5554
発行責任者
前田 勝子

社会福祉法人 結い
理事長 前田 勝子



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は皆様のご支援・ご協力を賜りありがとうございました。おかげさまで「結い」で働く仲間たちとスタッフ一同、新しい年を迎えることができました。

しかし、皆様には、新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、先行きの見えない不安感の中で、新年を迎えられていることと
思います。

私どもの作業所も、経済活動の縮小により宅配弁当などの売り上げが減少し厳しい経営状態に陥っています。また、基礎疾患があるため感染のリスクを避けて通所を控える仲間もいます。今年
の干支は丑(うし)です。



本年もどうか宜しく願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の収束はまだ見通せず、県内も感染者が増え、いつ、どこで、だれが感染してもおかしくない状況になってい
ます。今年も耐え忍ぶ年になるかもしれませんが、牛のように地道に感染予防を継続し、そして仲間がひとり
で悩むことがないよう孤立防止を心がけ、このコロナ危機を乗り越えていく所存です。

牛「はおつとり草を食べ、のんびりとしたイメージがありますが、実はとても力持ちで、日本では昔から荷物を運ぶための労働力として、人の生活に欠かせない大切な動物でした。大変な農業を地道に最後まで手
伝ってくれる様子から、丑年は「我慢(耐える)」や「発展の前触れ(芽が出る)」
年になるともいわれています。

ブラッシュアップ事業に参加して

ワークハウス・わくわく! 所長
早瀬 文香

喜楽では、2020年度岡山市障害福祉課が行うブラッシュアップ事業に参加することとなりました。この事業は就労継続支援事業所を対象に、工賃UPにつながるよう事業所の商品・サービスについて専門家によるコンサルティンク及びデザイナーによる販促物等のデザインをしていただく
だけです。

喜楽では、**※岡山よろず支援拠点**をご紹介します。飲食コンサルの武野誠二様にアドバイザーとして、お弁当の盛り付けや内容と調理方法についてすぐに実践できるようなアドバイスをたくさんいただいています。

また、一生堂の安藤一生デザイナーには喜楽の営業ちらし及び、ショップカードの作成をしていただけることとなっております。自前で専門家に依頼するのはコストが高くできません。今回、岡山市が費用を助成

してくれるのでとてもありがたいと思います。
また、外部の方に入っていたくことと、今一度自分たちの商品やサービス・日ごろの業務について見直すよい機会となりました。

ショップカードが完成したら今後の営業活動に生かし、販路を広げたいと思います。
ぜひ、次回の結いだよりで紹介したいと思います。



※岡山よろず支援拠点

平成26年6月より、国が全国に設置し、公益財団法人岡山県産業振興財団が運営している無料の経営相談所です。



喜楽メンバーの力作です♪

9月ごろから、週に1時間ずつくらい刺繍をして、2か月かけて作品が完成しました。

高校の時にしたことがあったんですが、ローザのエプロンに刺繍をして
いる職員をみて、私もしたいなと思
って一緒に始めました。

ふきんくらいのサイズに、チュール
リップの柄を刺繍しました。どこに何の色を使うか、選ぶのが楽しかった
です。下絵があつてその通りになるように縫っていくんですが、線がうまくつながるようにするのが難
しかったです。

完成してとてもうれしいです。
2か月があつという間でした。



額を買ってきたので、玄関に飾っています

結い後援会への新規加入と継続のお願い

私達は、障害を持って生きていかなければならない人々へ、温かい行政と財政支援を要求するべく、今後も努力し続けます。しかし、私達のみでは微々たるものです。ぜひ「結い」後援会にご加入いただき、私達の活動を支えてくださいますよう
よろしくお願い致します。

また、2020年度分の会費未納の方につきましては、継続してご協力いただけますように何卒よろしくお願い申し上げます。

<振込先> 郵便振込口座 01360-0-57757
社会福祉法人「結い」後援会
(個人：年1口 千円 団体：年1口 3千円)



ワークハウス・わくわく！
統括管理責任者
ハウスげやき
所長
高橋 陽子

新年あけまして
おめでとうございます。

昨年は、全世界がコロナ禍という大きな変化に呑み込まれた1年となりました。就労支援事業の一つである病院内売店は休業となり事業を縮小せざるをえず厳しい経営が続いております。

今年、法人は設立20周年目を迎えます。ここまで来られたのも一重に皆様方のご協力・ご支援の結果と存じます。今年度は報酬改定の年にもあたります。コロナ禍を受け社会保障費の抑制が予想され厳しい経営となりそうです。職員・利用者一丸となり乗り切っていきたいと思っております。



ワークハウス・わくわく！
所長 早瀬 文香

新年明けまして
おめでとうございます。

昨年中はワークハウス・わくわく！へのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

2020年は年初よりコロナウイルスの脅威にさらされ、情報収集とその対応に追われた一年となりましたが、こうやってまたみんなで新しい一年を迎えられることを本当にありがたく思います。

なかまの中には、公共交通機関を使つての通所に不安を感じ利用を一時的に控える方や、体調不良時にお休みをとることで心が苦しくなる方もおられます。連日のニュース報道と合わせて不安をおおられ、これまでに経験したことのない事態と向

き合うのはとても大変なことでした。

今年は、毎年恒例の一年に一度のビッグイベントである親睦旅行にも行けず、みんなで集まつてのレクリエーションもできていません。その状況の中で私たちもインターネット上でのテレビ会議で月に一度交流する結いの会を実施し、「新しい生活様式」にやつと少しづつ慣れてきました。

そしてそんな不安の多い世の中だからこそ、つながることの大切さや人の温かさを改めて実感しています。

目に見えないウイルスとの闘い。まだまだ先は見えない状況は続きますが、通つてきてくれるなかまが安心して今までどおりに働きにきてもらえるように、みんなで協力して2021年も私たちがらしく乗り切っていきたいと思っております。



忘年会

ワークハウス・わくわく！

喜楽

今年はオンライン

このコロナ禍の中、忘年会の開催について危惧してきましたが、頑張つてきてくれていた利用者の方々と一緒に一年を慰労したいと思ひ両事業所とも忘年会を開きました。感染予防に気を付けるため、会場は分散し一人一人の距離をとり、間にはパーティションを入れました。そして会場はわかれていても気持ちは一つになれるように、それぞれの会場にリモートを用意しテレビ会議ではじめてのオンライン忘年会としました。

ワークハウス・わくわく！ より

ワークハウス・わくわく！忘年会は、12月19日の土曜日のお昼を使って開催しました。



お店屋さんに行くと言つても立ち歩くことができません。でもオンライン忘年会だと、パソコンの前に行き、話したい人に直接声をかけられます。アップになる顔をみてうれしくなったり恥づかしかったり。会場は離れていてもすぐそばで一緒に参加している感じがして、楽しい時間をすごせました。

メニューは喜楽のオードブルのほかに職員が実演してくれる手作り巻きずし。Yショップのケーキも食べ、あつという間の2時間でした。

自宅から参加しました！

コロナ対策で、わくわく！の忘年会にリモートにて自宅から参加しました。世間ではオンライン飲み会がはやっていますが、オンラインの会食は初めてでした。コロナがおさまつても、このスタイルは良いと思ひました。楽しかったです。



喜楽より

喜楽でも12月27日(日)に忘年会(食事会)を行いました。いつもはみんなで輪になっての忘年会。今年はどうなるかと思ひましたが、リモートでもいつもの仲間の声が聞かれると距離ほどには離れている感じもせず、例年と変わらず明るいメンバーを中心に和気あいあいとした会になりました。



<喜楽 12月おうちDEごちそうが忘年会のオードブルでした>